

第12回 市長と話そう 津山^{まち}づくりミーティング

～津山市で過ごす学生生活について～



プログラミングコンテスト、ロボットコンテスト、英語弁論大会、ラグビーフットボール大会で優秀な成績を収めた津山工業高等専門学校^{（仮称）}の学生8人が、1月20日に成績報告に訪れ、その後市長と意見交換しました。

市長 津山での学生生活でどんなことを思いますか。

参加者 住みやすさについてはまあまあと思う。

参加者 県下第3の都市ときいていたので、もう少し発展していると思った。どこが津山の中心かわからない。

参加者 人が温かい。祭を見物していたら、顔見知りでなくても地元の人が温かく参加するよう誘ってくれ、加わると他の人からも声をかけられるなど楽しかった。



参加者 娯楽施設が少ない。特に、映画館がないのが残念。

参加者 入学前の環境と比べると遊ぶところがあるので良いが、交通に不便を感じる。

参加者 ホルモンが好きなので、ホルモンを使った料理がおいしい。

市長 「中心がどこなのか分からない」ということについて、中心市街地の空洞化ということだと考えるが、これは街づくりにとって大きな問題。

また、祭りの意見があったが、津山は文化財が多くあるので、まちじゅう博物館構想を進めて市の魅力をPRしていこうと思う。

「娯楽施設が少ない」という意見について、何があったらいいと思いますか。



参加者 少ないというより、散らばっている印象を受ける。歩いて、いろいろ散策することができる環境ではない。買い物に出かければ、買い物という主な目的よりほかの「楽しみ」がついてこない。

参加者 子どもが遊ぶ公園はあっても、幅広い世代が利用できたり、リフレッシュできる公園がない。

市長 そのほかに、津山市で学生生活を過ごしていて、どんなことを思いますか。

参加者 電車が1時間に1本であったり、岡山までのバス便が1日4本なので不便。市街地のバス便も、土日の便数が減るなど不便を感じる。駅や市役所から高専を通るバスがあるといいと思う。

参加者 自転車を利用して感じるのは、舗装が痛んでいたり、道路に高低差が多くあること。

市長 文化財を保存するだけではなく、新しい視点を取り入れ活用していきたい。そのためにも、まずは多くの人に知ってもらうことが大事。

皆さんには、これからの生活を大事にして、夢をしっかり追いかけて、強い気持ちをもって取り組んでもらいたい。津山のことも忘れないでほしい。

■参加者への事後アンケートの声

- ・自分が普段の生活の中で感じた不便な点や良い点を伝えられて良かった。
- ・設定時間が短かった。
- ・今後の津山がどのように変化しようとしているのかを聞けて良かった。



(前列左から) 林隼大さん、田坂拓己さん、平松鴻志さん、岸本花音さん

(後列左から) 鵜大介さん、岸本大輝さん、安藤慎さん、谷本要さん、谷口市長